



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 72

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 72. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1958, 72: 31-36

ISSUE DATE:

1958-09-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186794>

RIGHT:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興會

## 水族館月報

No. 72

1958. 8月 (9月5日)

### 録 事

今夏は実習や研究者の来訪が相次ぎ、新設宿舍の利用者が多数にのぼった。例年に比べて暑熱はげしく、夏は水不足になやんだものだが、今年は水道の開通によって、その憂やみが解消されたのが何よりも有難かった。

昨年までは明光バスの要請によって、8月中水族館は夜間も閉館したが、今夏は都合により納涼バスが取止めとなった。

既報の如く国際会議に出席のため渡英中の宮地会長は今日15日帰国した。

崎岡委員は大阪市立自然科学博物館と読売新聞社の企画した「南太平洋学術調査団」の第一陣をうけたまわって、他の3名の団員と共にいよいよ8月20日大阪港出港の岡田組「千歳丸」で佛領ニューカレドニアに向けて出発した。全島首都のヌメアを中心に2ヶ月間を調査と採集に要して11月上旬帰国の予定である。実験所では12日壮行会を催してその壮途を祝った。

8月25日夕刻、台風17号が白浜に上陸、紀伊半島を斜断して各地に被害をもたらした。「台風の眼」通過の際は無気味な無風状態と夕焼を経験したが、多量の雨を降らしたのみで、風はあまり強くなく、さしたる被害もなくて幸だった。

## 業 務 概 況

### ◎ 8月の入場者数

区 分	水族館発着数		明光バス発着数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	7079	38290	17261	79958	24340	118248
小 人	2122	4760	2508	3910	4630	8670
団 体	7380	69062	—	—	7380	69062
合 計	16581	112112	19769	83868	36350	195980
無料入場者					—	466

団 体 : 一般                      60組、学生                      27組                      計                      87組

### ◎ 8月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金	638,233	3,532,866
予金積立金利息	—	262,148
雑 収 入	1,250	24,230
魚 菜 類 下	2,600	8,940
絵はがき類 下	26,030	57,790
計	668,113	3,885,974

### ◎ 8月の支出

#### 水族館経費

費 用 団	金 額	累 計	備 考
人 件 費	75,477	458,782	
会 議 費	436	47,557	
備 品 費	3,500	86,520	
消 耗 費	17,079	84,172	
車 業 費	54,140	356,357	
維 持 費	8,955	44,320	
其他諸経費	3,427	253,775	
積 立 金	130,722	460,958	
合 計	293,736	594,102	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	60,000	
奨 学 金	8,000	40,000	
借 品 費	—	73,800	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	217,534	
役 務 費	—	—	
合 計	8,000	391,334	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	20,800	122,085	
借 品 費	—	51,020	
消 耗 費	1,200	5,515	
役 務 費	—	8030	
合 計	22,000	186,650	

臨時費

摘 要	金 額	累 計	備 考
時岡委員海外調査補助	50,000		
合 計	50,000	408,000	

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	293,736	5,941,026
実験所経費	8,000	391,334
博物館経費	22,000	186,650
臨時費	50,000	408,000
計	373,736	6,927,010

◎ 8月末現在高

前月からの繰越	552,417
今月の収入合計	668,113
今月の支出合計	373,736
現 在 高	846,794

◎ 前年度との比較

	1957	1958	増	減
入 場 者 数	34250	36350	+	2100
売 上 金	606,110	638,223	+	32,113
支 出 金	505,642	373,736	-	131,906

水 族 館 記 事

- ◎ 14日赤白中の須磨水族館員奥野氏採集のイボヤギ、イソバナ等数点を同氏の好意によりもらいうけて水槽に補充した。
- ◎ 19日原田研究員は島島付近で種々の造礁サンゴ類を潜水採集した。
- ◎ 25日夕刻台風17号白浪を通過。多量の降雨(25日実験所観測室での実測333.43ミリ)と日置川などの河川の氾濫で、塩分濃度は14‰台に下がったが、水槽内の動物で特に悪影響を受けたものはなかった。
- ◎ 8月中入槽した主なものをあげると、  
クマノミ 2匹(4日)、ミノカサゴ 1匹(5日)、ツルグエ 1匹(6日)、  
イトヒキアジ 1匹(9日)、イザリウオ 1匹(12日)、亀の子 30匹(15日)
- ◎ 失ったものの主なものをあげると次の通りである。  
ハマチ 3匹(2,5,6日)、カレイ 5匹(6日)、カブトガニ 1匹(6日)、  
カスザメの子(4月7日入槽のもの) 6匹(9~26日)、イトヒキアジ 1匹(10日)、  
イザリウオ 1匹(15日)、クマノミ 2匹(16,17日)、エビスダイ 1匹(18日)、  
オオセの子 1匹(29日)、クエ 1匹(29日)、ミノカサゴ 1匹(10日)。

## 資 料

- ◎ 8月の気象 (9時観測)  
南水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(20)	7	6	7
室 温(°C)	$\frac{27.7 \sim 29.3}{28.6}$	$\frac{27.8 \sim 29.8}{28.7}$	$\frac{26.2 \sim 29.0}{28.2}$
水 温(°C)	$\frac{27.30 \sim 28.80}{28.18}$	$\frac{27.60 \sim 28.4}{28.00}$	$\frac{26.54 \sim 28.32}{27.50}$
比 重(0.15)	$\frac{25.22 \sim 25.47}{25.42}$	$\frac{25.05 \sim 25.47}{25.38}$	$\frac{19.21 \sim 25.22}{23.88}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{27.78 \sim 29.38}{28.82}$	$\frac{27.74 \sim 28.82}{28.37}$	$\frac{26.58 \sim 28.74}{25.29}$
比 重(0.15)	$\frac{25.30 \sim 25.62}{25.46}$	$\frac{25.05 \sim 25.47}{25.25}$	$\frac{22.75 \sim 25.26}{24.35}$

## 来 訪 録

8月11～18日 須磨水族館奥野良之助氏(アクアラングによる無背椎動物の採集)

8月22～29日 京大地球鉱物学科学生4回生白井享氏(アクアラング技術修得)

8月25日 京福電鉄福井支社次長樟木秀樹, アルス建築事務所長乾馨氏他2名(福井県下に設ける予定の水族館計画についての相談)

## 正 誤 表

- 月報N0.71, P.25の7月の事業収入合計に誤植あり

(今年度累計)

計 ..... 535,700 ..... 6,553,274 を

計 ..... 449,128 ..... 3,217,861 に訂正

昭和 33 年 9 月 5 日 (NO. 72)

編集兼  
発行者

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海突駿所振興会  
和可山泉白疾町  
瀬戸臨海突駿所肉  
(Tel. 白浜温泉 515)